



第 36 回 例会 報告 (4月5日)

【 出 席 報 告 】

・会員数 54名
 ・当日出席率 63.63%
 ・出席数 29名
 ・前々回修正出席率 100%
 ・欠席数 25名
 <欠席会員> 藤田、檜垣(圭)、平田、吉良、小堀、久米、桑森、松木、西信、越智(務)、尾越、大澤、竹田、田中、藤堂、吉田
 (免除会員) 青野、原田、門田、金森、松本、村上、白石、高木、八木
 <3/22 欠席補填> (3/19 今治北) 川上、松木、大澤 (4/2 今治南) 藤田、原、檜垣(巧)、越智(務)、竹田

会長報告・飯忠悟会員に米山記念奨学委員会より第21回米山功労者の感謝状が届きました。

幹事報告・4月12日(木)18:30からはな亭にて花見夜間例を開催します。松山検番も訪れます。

少年少女キャンプ報告

今治青少年ロータリー友の会会長 山川義弘君:3月26日から5日間、香川県土庄町の神戸YMCA余島野外活動センターで行われた春の冒険ロータリーキャンプに参加した。関西、四国から小中高生の参加があり、スポーツ、釣り、歌や踊りなどで交流した。知らない人ばかりで不安が募ったが、最後はすっかり打ち解け、別れに涙する人もいた。充実した出会いの場だった。あきらめないこと、感謝すること 大学生のリーダーに多くを学んだ。この経験を生かし、夏のロータリーキャンプをよりよいものにしたい。ありがとうございました。



広報・会報委員会アワー

飯忠悟会員:二度にわたり東北の被災地に行ってきた。最初は岩手県大槌町一帯の小中学校にピアノを寄贈するプロジェクト。津波を免れた学校にあちこちから集まって合同授業をしている。先生が子供を集めピアノを弾いて「アイ・ビリーブ・イン・フューチャー」を歌ってくれた。歌いつけている曲なのでハモろうとしたが、涙が出て、声にならなかった。寄贈は計7台。RIから撮影班が来ていた。同じ岩手・山田町では震災から丸1年の3月11日、山田ロータリークラブが整備した「鎮魂と希望の鐘」の除幕式があった。この鐘の大元のモデルは長崎の平和の鐘だそう。きれいな音がする。戦前、今治キリスト教会(現日本キリスト教団今治教会)に米オハイオから贈られた鐘があった。美しい音を響かせていたが、金属供出で四阪島へ送った直後に終戦となり、返してもらおうと手配したが間に合わなかった。あの鐘の音を思い出す。設置場所は山田町が公共の場所を提供してくれた。25㍍の丘の上だ。敷地内にJR陸中山田駅にあった大時計も設置した。これもロータリーが寄贈したもので、津波が襲来した午後3時27分を指したまま止まっている。花を手向けて立ちすくむ人、線香を立てて祈る人を見て、胸が詰まる思いがした。被災地への慰問、援助は一回だけではなく、長いスパンで考えねばと思った。町長は「瓦礫を受け入れてほしい」と訴えていた。



<ゲスト> 今治青少年R友の会会長 山川義弘君、 今治北RC 高井修二様<火災保険>

次 回 例 会 (4月12日)

【 花見夜間例会 】

日 時 : 2012年4月12日(木) 18:30~

場 所 : はな亭 (今治市共栄町2-2-41 TEL 22-0351)